

～ 実習・採用先での仕事の様子 ～

SSKP はばただより vol.128

就労移行のその先に…



工房時の就労支援… うどん店「おもむく食堂」の営業のほか、さまざまな企業の見学・実習や、採用に向けて面接・身だしなみのトレーニングを行っています。

この8月で、事業所の開設から早くも4年が経ちました。ここでの活動を通じて、企業就労という新しいステージへ進まれた方も出てきました。就職から既に1年以上頑張っている方、職場で異動になって新しい仕事に奮闘する方、トライアル雇用から正式採用を目指す最中の方、実習という形で経験を積まれる方。皆さんの個性によって、さまざまな仕事への関わり方があります。

私たちは、“こういう仕事をしてみたい！”という気持ちを大切に、就職へのチャレンジをしてきました。ここからは、成功したチャレンジをいかにして「継続・定着」していくか、例え失敗してもどうやって次への糧としていくか…という、新たな課題とも向き合わなければなりません。

就職は一つのゴールではありますが、その先には「働き続けること」という道が続いています。

工房時OBの皆さんのご活躍や笑顔を励みに、また刺激を受けながら、これからも日々歩んでいきたいと思っています。(本部：中野)



社会福祉法人おおぞら会

小規模多機能型居宅介護

野ざきの家



暑い暑い夏の午前、活動の一環で庭に植えた野菜の苗が実り、利用者さんと収穫を行った時のことです。「こうやって手に掛けた分、実になって応えてくれて嬉しいですね。」と言…。野菜の苗を植え、それぞれ出来る世話をし、収穫の喜びを皆で分かち合う。それに応えてくれた作物。愛情を注ぎ育てたからこそその喜びであったと思います。またこのような役割を持って通ってこられることが、利用者さんの生きがいになっていたのだと思いました。夏の野菜は終わりましたが次なるものを作り、役割を持てるような働き掛けをしていきたいと思います。さてその手塩に掛けて育てた野菜はというと収穫した日の昼食の追加の一品としていただきました！なす・トマト・枝豆・ゴーヤなど次々収穫できたので色んな料理をしました。利用者さんも思い出しながら「何と何を合わせて、あの味付けで」など色んなレシピが飛び交いました。調理もひとりひとりペースに合わせて職員はそっと見守る…。当たり前の光景かもしれませんが、やりたくてもできない状況や手先が上手く効かなくなったり、物が見えにくくなってお気持ちが失せたりと、高齢になり色んな機会を失ってしまうことが多くなります。そんな状況にあるからこそ、我々は「生活の一部」として機会を作ることを大切にしていかなくてはとあらためて思いました。



さらに、今年は初夏の行事として利用者さん・職員でランチに行きました。多摩湖が眺められるレストランにて楽しいひととき…。いつもと違った場所でちょっと緊張しながらもコース料理で次々と運ばれる料理に喜び、おしゃべりしながら食事して。その時、ある男性の利用者さんが「ねえねえ、内緒でビール飲もうよ。」と言ってきました。やっぱりおいしい物や雰囲気がいいと心躍って楽しい気持ちになったのでしょう。

「今夜ご自宅でこの出来事を奥様にお話ししながら一杯やってみては？」とお声掛けしたところ、「おー！そうだな。そうするよ。さすがにあんたも仕事中だしな(笑)」と笑っておっしゃっていました。こんなやりとりができたり、何かと頼りにしてくれたり…。お互いを認め合い、尊重し敬い、支え合う。普通の人間関係であり人間の根底にある絶対に大切にしなければならないもの…どんな状況であれこの気持ちと謙虚さを忘れてはいけないと思います。

さらに8月下旬、夕涼み会を行い、利用者さん、ご家族、工房時の所員、地域の関係者など総勢約50名での盛大な会となりました。すいか割り・お祭り食事メニュー・活動スライド観賞会・花火。そして最後は皆で野ざきの家の思い出ソング「ふるさと」の大合唱。あっという間の時間でしたが、実は午前中から食事の仕込みを利用者さんで行い、時の所員の方もご自身の仕事の合間にお手伝いに来てくれたり。職員主導で進めるのではなく協同して一つの形を作る。少しずつではありますが、想いを形にする方法が見えてきたと思います。色んなアプローチをしながら、「その時」「その状況」に応じた支援を展開していかなくてはなりません。想いだけでも出来ません。その想いは「伝えた」ではなく「伝わった」時にお互いの想いが通じていく。「伝わった」と実感できる様な支援を行っていききたいと思います。

(管理者 齋藤貴彦)



工房 時

(就労移行支援事業／就労継続B型)

新企画！

こども仕事体験デー

さわやかな秋風が吹く季節になり、朝夕はめっきり涼しく、過ごしやすくなりました。

さて、まだ暑かった8月9日、「工房時」では「仕事体験デー」というイベントを開催しました。地域の子供たちに、「工房時」で行っているうどんの麺やお菓子を作る仕事を体験してもらおうという取り組みです。近隣の方々に工房時の活動を知ってもらい交流を深める事、また子供たちが食品を作るという体験をし、学ぶことが出来る機会を提供するという、地域貢献が大きな目的です。市報に掲載したことや近隣の小学校にチラシを配布した効果があり、すぐに定員は埋まってしまいました。当日はみんなで協力し、役割分担をしながら行う事が出来ました。ご家族にもご協力いただきました。ありがとうございました。

最初は所員と職員の挨拶から始まり、さあ体験です。

製菓部ではクッキーづくりを行いました。生地を型で抜いたり、オーブンで焼いたりする作業を体験しました。子供たちが楽しそうに型を選び、わくわくした表情で出来上がりを待っている姿が印象的でした。



製麺部ではうどんの生地を作るところから麺を切る所まで、見て触ってうどん作りを体験することが出来ました。職員が説明した後、所員が先生となって、子供たちに話しかけながら麺作りを教えました。子供たちの眼差しは真剣、手に力が入って時間がかかる子どもたちも多くいました。麺が切れる様子を観ながら、キャーキャーといった歓声も上がっていました。また、子供たちよりも楽しんでいるように見えるお父さんもいました。子供たち、お母さん、お父さん、みなさん出来上がった時の表情はとても満足そうでした。

作ったクッキーとうどんの麺は、お土産として持って帰ってもらいました。最後に「おもむく食堂」でうどんを食べ、時間がある方々は足湯にも入っていかれました。みなさん、充実した楽しい夏休みの思い出が出来たと思います。

「工房時」の所員は、子供たちに仕事を教えるという貴重な体験をすることが出来ました。物事を学ぶ方法は本を読む、人の話を聞く、実際に経験してみる等、色々ありますが、人に教えた知識や技術は、自分の中に深く残っていくような気がします。今回「しごと体験デー」を通して、一人一人が様々な役割を担い、自分たちの仕事を子供たちに紹介することが出来て良かったと思います。自分たちの行っている仕事を再確認し、難しさや大切さに気付き、誇りを持つことにつながった所員もいたのではと思います。

(管理者 立野信行)

あすはKids

放課後等デイサービス事業

－ 学校は夏休み！ －

学校も夏休みに入り、子どもたちは、プールに、宿泊行事に、職場実習に、家族旅行にと、結構忙しい日々を過ごしました。

あすはKidsは、夏時間となり、午後1時～5時までの活動でした。



真夏の暑さの中であって、熱中症に気をつけながらも、外出プログラムが盛んです。

野川公園でのスイカ割りや散策、府中の森公園や武蔵野公園での水遊び、石神井公園に行き、木立の中で涼みながらも横になって木々の間の木漏れ日を楽しんだりしています。プールは、学校とガイドヘルパーさんにお任せしています。



多摩六都科学館なども普段は行先の一つなのですが、夏休み中は大入り満員で敬遠せざるを得ません。そんな中で、新しい行先として「清瀬ひまわり畑」に行ってきました。

一面のひまわりが咲く中を散策したり、ベンチに座っておやつを食べたりしてきました。



ひまわりというよりも、手をつないで歩くことが好きだったり、おやつを食べることに関心があったりと一人ひとりの楽しみかたはまちまちですが、いろいろな場を体験する中で、「あっ！」と子どもたちの心に引っ掛かるできごとがあればと思っています。また、私たちが「意外な一面」を発見できる機会になればと思います。

あすはKidsは、このような日常をつくりながら、子どもたちが心穏やかに安心して過ごし、少しでも楽しめる場になること、その上で一人ひとりの持ち味を発揮できる場になることをめざしています。

(管理者 三浦明雄)



サポートネットあすは

【移動支援【居宅介護】事業】

知ろうという気持ちから～ ガイドヘルパー養成研修

サポートネットあすはでは年に2回、東京都の指定を受けた「ガイドヘルパー養成研修」を行っています。今年度も6月に1回目の研修を終えたところです。

ガイドヘルパー養成研修は都によってカリキュラムが決められています。どこで資格を取ってもガイドヘルパーの仕事をすることは可能ですが、講義の内容はそれぞれの主催者のカラーが出るように思います。

あすはの研修は、利用者の方に講師として話をしてもらう時間を設けています。今回の研修では6名の方が受講生の前でお話をしてくださいました。(そのうち1名は当日の飛び込み参加です!) それまで緊張した面持ちだった受講生が、不思議とこの時間は柔らかな表情になっていたのが印象的でした。実際に利用者の方の話を聞き、その和やかな雰囲気が伝わったのでしょう。まさに「相手を知ること」の大切さを実感した場面でした。支援においても、障がいの有無だけにとらわれず、より深く相手のことを知ろうという視点を大切にしたいと感じた研修でした。

あすは夏まつり&ミニバザー

8月9日に「あすは夏祭り&ミニミニバザー」を行いました。

カレーや焼きそば、かき氷、それに大人気の揚げたて「おからドーナツ」など、すっかりお馴染みになった模擬店メニューのほか、「マカオピーチ」さんがバンド演奏で夏祭りを盛り上げてくださいました。「マカオピーチ」さんは、あすは職員1名と武蔵野市内の別の法人職員3名で構成されているバンドです。以前、クリスマス会に出演していただいてから、イベントの度に演奏をお願いしています。忙しいお仕事の間での出演、本当に感謝です! おかげで、参加者の皆さんも一緒にリズムをとって歌って、とても楽しい時間になりました。

お祭りの最後は、すいか割り。小さなお子さんから大人まで、順番にチャレンジしました。見事に割れたすいかは皆で美味しくいただきました。

今回の参加者は66名、家族やお友達と参加して下さった方もいました。バザーの売上は48,035円(8/25現在)で、今までの繰越金と合わせた50,000円をおおぞら会後援会へ寄付しました。

「マカオピーチ」さん、ボランティアでお手伝いいただいた皆さん、バザー品を提供していただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。来年の夏祭りも、地域の方も含め多くの人に楽しんでもらいたいと思っています。

(管理者 鷹觜 綾)



アクティビティセンター はばたけ

【生活介護事業】

……ようこそ、はばたけへ……

以前のはばたけでは喫茶店を運営しており、近所の方がふらっと入れる場がありました。工房時の開設とともにその機能が移ってからは、やはり地域の方々が「ふらっと立ち寄り」…という機会は減り、惜しむ声も聞かれました。閉鎖的にならないためには、どんなことができるかな…ということは、施設として大きな課題でもあります。

それでも、以前喫茶店の常連さんだった方々は、通りすがりに「お花もらってくれる?」「七夕の笹あるよ」と声をかけてくれ、また牛乳パックをそっと置いていかれる方、外の看板を観て製品を見せてくださいと尋ねてこられる方など、日々過ごしている中でいろいろな方がはばたけに来てくださいます。ひとつひとつが、小さくも、とてもあたたかく大事にしたい「つながり」です。

しかし待っているだけでは広がりません。地域に出て行ったり、はばたけにお招きする中で、いろいろな人たちとのつながりを意識的につくっていくことが必要です。その中でも今回ご紹介するミニ企画や、10 月に開催する『はばたけ秋まつり』など、はばたけの雰囲気をもそのまま共有できる機会は、説明抜きに私たちの伝えたいことを感じていただける貴重な機会です。はばたけの皆さんのいつもの姿がある場で、そして一緒に楽しむ時間の中でこそ、得られるものもあるのではないかと思います。小さなつながり、そして企画としての大きな輪づくり…と様々な視点からはばたけを感じていただける機会を、これからも大切にしていきたいと思います。(管理者 入倉暁子)

私たちが先生！てすき体験

てすき体験は、はばたけでは十八番の交流行事。これまでも地域のイベントなどで、私たちの自主製品でもある「てすきはがき」づくりを通しての交流を行ってきました。

以前違う自治体から依頼を受けて「出張てすき講座」をしたことがありとても好評だったのですが、「遠くからの依頼もうれしいけれど、もっと近くでこそやりたいよね」…そんな声も職員の中から聞こえてきました。

近く…といえば、はばたけには 5 分とかからない近所にある三鷹市西児童館があります。もちろんイベントに出演したり販売をさせていただいたりという交流はあるのですが、日常的な関わりが持てることはしていませんでした。そこで児童館の子どもたちを招きたい…と児童館とのコラボ企画が具体化し、そして西児童館のご厚意で、夏休み企画にからめて体験講座をさせていただけることになり、この夏休みに開催することとなったのです。

工房時の「仕事体験」の企画同様、いつもの仕事をやってみせたり、アドバイスをする先生役は、特別な体験として利用者のみなさんに自信や達成感をもたらします。

子どもたちの真剣な熱いまなざしにも、壁は感じられません。そんな自然な関わりの中で、はばたけを身近に感じてもらえる機会としても、大切に育みたい企画だとあらためて思いました。

児童館の皆さま、ご協力ありがとうございました。



おおぞら会後援会ニュース

猛暑も一段落し、朝晩は少し冷え込む陽気となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、さる 5 月 23 日に後援会総会が開かれました。後援会事業のこれからを皆様と共に確認し、新たな歩みを始めた所です。また、後援会相談役の宮坂様が、前期をもってご退任されることをご報告させていただきます。法人の設立以前から長年に渡りご尽力いただきましたこと、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

おおぞら会後援会は、これからも法人の運営を支える大切な組織として運営してまいります。どうぞ会員の皆様のお力をお貸しいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会

会長 吉野 壽夫

総会・決算の ご報告

2014 年度 おおぞら会後援会 資金収支報告書

単位: 円

支出の部				収入の部			
科目	予算額	決算額	執行率	科目	予算額	決算額	執行率
事務費	140,000	101,137	72%	会費	2,050,000	1,591,000	78%
事業支出	100,000	0	0%	寄付金	850,000	87,500	10%
バザー・祭り	150,000	109,163	73%	事業収入	200,000	0	0%
法人へ寄附	3,000,000	700,000	23%	バザー・祭り	330,000	350,911	106%
				雑収入	11,000	20,400	185%
支出計	3,390,000	910,300	27%	収入計	3,441,000	2,049,811	60%
当期収支差額	51,000	1,139,511	2234%				
前期繰越金	1,208,261	1,208,261	100%				
次期繰越金額	1,259,261	2,347,772	186%				

★後援会新規ご入会・ご更新

個人 164 名、団体 2 社からご入会・ご更新の手続きをいただきました。ありがとうございました。

★後援会へ寄附

個人 15 名の方から、後援会へご寄附をいただきました。ありがとうございました。ご寄附は大切にさせていただきます。

★後援会経由 法人・各事業所へ寄附

個人 14 名、団体 6 社から、法人・各事業所へご寄附をいただきました。ありがとうございました。ご寄附は大切にさせていただきます。

(以上、4/1~8/31 集約分) 皆様 ありがとうございました。

2015 年度分

＊後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします＊

年会費 1 口 個人…2000 円 団体…10000 円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義: 社会福祉法人おおぞら会後援会

「はばただより」郵送分に振込用紙を同封させていただきました。すでに納入済みの方にも、すべてお配りしておりますので、その旨ご了承ください。

information

はばたけ 秋まっり

10月17日(土) 11:00~15:30

ステージ

もぎ店

アイスクリーも
屋さん来るよ

ミニバザー

ワークショップ

場所: アクティビティセンターはばたけ (自転車か公共機関でお越しください)

今年のテーマは
かわいい恐竜の森!



社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|----------------------------|---------------|------------------|
| ・アクティビティセンターはばたけ (生活介護事業) | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・工房 時 (就労移行事業・就労継続B型) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・野ざきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・あすは Kids (放課後等デイサービス) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ショートステイさくら (短期入所事業) | 三鷹市井の頭 4-22-6 | tel 0422-32-3234 |

夏の猛暑を運んでしまった台風と秋雨前線…。ここのところ極端なことが多く戸惑う。気候、天災に限らず、食べ過ぎ、頑張りすぎ、欲張りすぎ…極端なことというのはいい結果をうまないことも多い。自分だけではどうにもできないこともあるが、せめて自分で調整できることくらいは、丁度良い加減のところを意識したいものだ。 (いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 (頒価 50円)

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者: 入倉暁子

第2号の1様式				第1号の1様式						
事業活動計算書				資金収支計算書						
(自)平成26年 4月 1日(至)平成27年 3月31日				(自)平成26年 4月 1日(至)平成27年 3月31日						
(単位:円)				(単位:円)						
勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収益				事業活動による収入	介護保険事業収入	40,770,000	42,411,278	△ 1,641,278	
	介護保険事業収益	42,411,278	32,473,654	9,937,624		就労支援事業収入	8,589,000	7,316,050	1,272,950	
	就労支援事業収益	7,316,050	7,376,162	△ 60,112		障害福祉サービス等事業収入	247,826,000	249,765,445	△ 1,939,445	
	障害福祉サービス等事業収益	249,765,445	235,868,273	13,897,172		借入金利息補助金収入	1,022,000	902,828	119,172	
	経常経費寄附金収益	4,012,575	6,579,232	△ 2,566,657		経常経費寄附金収入	4,150,000	4,012,575	137,425	
	サービス活動収益計(1)	303,505,348	282,297,321	21,208,027		受取利息配当金収入	35,000	4,425	30,575	
	人件費	232,267,361	230,695,432	1,571,929		その他の収入	2,432,000	2,427,763	4,237	
	事業費	22,142,765	21,009,751	1,133,014		事業活動収入計(1)	304,824,000	306,840,364	△ 2,016,364	
	事務費	31,917,501	31,595,642	321,859		人件費支出	227,196,000	232,267,361	△ 5,071,361	
	就労支援事業費用	8,815,753	8,489,611	326,142		事業費支出	24,618,000	22,142,765	2,475,235	
減価償却費	21,521,978	19,416,487	2,105,491	事務費支出	35,078,000	31,917,501	3,160,499			
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 16,312,049	△ 14,464,649	△ 1,847,400	就労支援事業支出	8,039,000	9,092,316	△ 1,053,316			
徴収不能額	334,858		334,858	支払利息支出	1,434,000	1,216,395	217,605			
サービス活動費用計(2)	300,688,167	296,742,274	3,945,893	その他の支出	2,270,000	2,151,197	118,803			
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	2,817,181	△ 14,444,953	17,262,134	流動資産評価損等による資金減少額		334,858	△ 334,858			
サービス活動増減の部	収益				事業活動による収入	事業活動支出計(2)	298,635,000	299,122,393	△ 487,393	
	借入金利息補助金収益	902,828	1,015,252	△ 112,424		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	6,189,000	7,717,971	△ 1,528,971	
	受取利息配当金収益	4,425	4,004	421		施設整備等補助金収入	8,333,000	8,375,000	△ 42,000	
	その他のサービス活動外収益	2,427,763	2,628,738	△ 200,975		固定資産売却収入		13,260	△ 13,260	
	サービス活動外収益計(4)	3,335,016	3,647,994	△ 312,978		施設整備等収入計(4)	8,333,000	8,388,260	△ 55,260	
	支払利息	1,216,395	1,179,953	36,442		設備資金借入金元金償還支出	10,269,000	10,266,000	3,000	
	その他のサービス活動外費用	2,151,197	1,988,428	162,769		固定資産取得支出	1,435,000	1,158,248	276,752	
	サービス活動外費用計(5)	3,367,592	3,168,381	199,211		施設整備等支出計(5)	11,704,000	11,424,248	279,752	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△ 32,576	479,613	△ 512,189		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 3,371,000	△ 3,035,988	△ 335,012	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	2,784,605	△ 13,965,340	16,749,945		その他の活動による収入	長期運営資金借入金収入	10,000,000	10,000,000	0
特別増減の部	収益				積立資産取崩収入			70	△ 70	
	施設整備等補助金収益	8,375,000	9,324,000	△ 949,000	その他の活動による収入		△ 187,000	7,731	△ 194,731	
	その他の特別収益	△ 30,771	85,897	△ 116,668	その他の活動収入計(7)		9,813,000	10,007,801	△ 194,801	
	特別収益計(8)	8,344,229	9,409,897	△ 1,065,668	長期運営資金借入金元金償還支出		8,692,000	8,656,000	36,000	
	国庫補助金等特別積立金積立額	8,403,481	12,336,481	△ 3,933,000	投資有価証券取得支出			22,175	△ 22,175	
	その他の特別損失	208,347	5,659,402	△ 5,451,055	積立資産支出			70	△ 70	
	特別費用計(9)	8,611,828	17,995,883	△ 9,384,055	その他の活動による支出		13,000	221,607	△ 208,607	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 267,599	△ 8,585,986	8,318,387	その他の活動支出計(8)		8,705,000	8,899,852	△ 194,852	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	2,517,006	△ 22,551,326	25,068,332	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		1,108,000	1,107,949	51	
	繰越前期繰越活動増減差額(12)	69,795,561	92,346,887	△ 22,551,326	予備費支出(10)		—			
繰越当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	72,312,567	69,795,561	2,517,006	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	3,926,000	5,789,932	△ 1,863,932			
活動増減差額の部	基本金取崩額(14)				前期末支払資金残高(12)	40,453,175	40,453,175	0		
	その他の積立金取崩額(15)				当期末支払資金残高(11)+(12)	44,379,175	46,243,107	△ 1,863,932		
	その他の積立金積立額(16)									
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	72,312,567	69,795,561	2,517,006							

貸借対照表
平成27年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	57,745,622	52,011,538	5,734,084	流動負債	26,167,041	21,171,452	4,995,589
現金預金	13,264,575	8,951,740	4,312,835	事業未払金	8,367,688	8,143,410	224,278
事業未収金	42,428,028	39,706,174	2,721,854	1年以内返済予定設備資金借入金	10,266,000	10,266,000	0
未収金	5,655	106,953	△ 101,298	1年以内返済予定長期運営資金借入金	5,328,000		5,328,000
未収補助金	0	1,464,000	△ 1,464,000	未払費用	489,312	497,223	△ 7,911
商品・製品	284,430	215,710	68,720	預り金	286,083	712,922	△ 426,839
仕掛品	123,459	72,404	51,055	職員預り金	1,058,958	1,243,677	△ 184,719
原材料	521,585	364,797	156,788	前受収益	371,000	308,200	62,800
立替金	156,838	192,698	△ 35,860	仮受金	0	20	△ 20
前払費用	931,052	937,062	△ 6,010				
仮払金	30,000	0	30,000				
固定資産	420,462,336	440,842,393	△ 20,380,057	固定負債	113,922,000	128,172,000	△ 14,250,000
基本財産	351,951,165	365,391,364	△ 13,440,199	設備資金借入金	109,234,000	119,500,000	△ 10,266,000
土地	132,926,894	132,926,894	0	長期運営資金借入金	4,688,000	8,672,000	△ 3,984,000
建物	167,630,335	173,406,898	△ 5,776,563	負債の部合計	140,089,041	149,343,452	△ 9,254,411
建物附属設備	51,393,936	59,057,572	△ 7,663,636	純資産の部			
その他の固定資産	68,511,171	75,451,029	△ 6,939,858	基本金	35,476,256	35,476,256	0
建物	33,602,925	35,482,301	△ 1,879,376	第1号基本金	29,976,256	29,976,256	0
建物附属設備	11,419,364	12,905,037	△ 1,485,673	第3号基本金	5,500,000	5,500,000	0
構築物	6,500,707	7,437,570	△ 936,863	国庫補助金等特別積立金	229,895,055	237,803,623	△ 7,908,568
機械及び装置	7,065,208	8,442,609	△ 1,377,401	その他の積立金	435,039	435,039	0
車輛運搬具	1,709,727	2,824,403	△ 1,114,676	授産移行時特別積立金	435,039	435,039	0
器具及び備品	2,639,152	3,402,954	△ 763,802	次期繰越活動増減差額	72,312,567	69,795,561	2,517,006
権利	152,880	152,880	0	(うち当期活動増減差額)	2,517,006	△ 22,551,326	25,068,332
ソフトウェア	621,000		621,000				
投資有価証券	152,751	130,576	22,175				
授産移行時特別積立預金	435,039	435,039	0				
差入保証金	4,086,860	4,086,860	0				
長期前払費用	125,558	150,800	△ 25,242	純資産の部合計	338,118,917	343,510,479	△ 5,391,562
資産の部合計	478,207,958	492,853,931	△ 14,645,973	負債及び純資産の部合計	478,207,958	492,853,931	△ 14,645,973